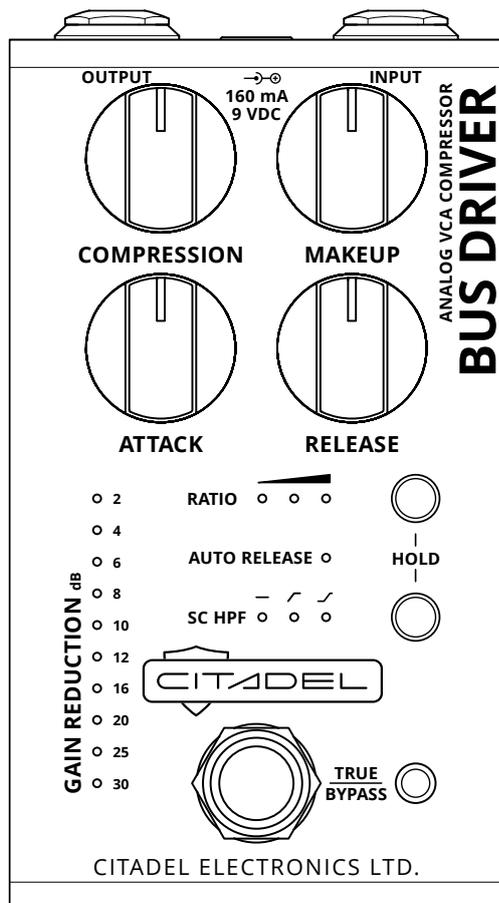


Bus Driver



はじめに

Bus Driver コンプレッサーペダルは、ビンテージ SSL®ミキシングデスクに搭載されているミックスバスコンプレッサーから多大なインスピレーションを得ています。本機は、透明感のあるサウンドから、スタジオクオリティの極限まで圧縮されたサウンドまで、あらゆるレベルのコンプレッションを、ユーザーフレンドリーな操作性で実現します。また、LED バーは、ゲインリダクションを正確に表示します。

コントロール / 機能

COMPRESSION : ゲインリダクションの量を調整します。機能的にはコンプレッサーのスレッシュホールドをコントロールしています。コンプレッション量は **GAIN REDUCTION** メーターに表示されます。

MAKEUP : コンプレッション後に、ゲインリダクションで失われた音量を補正するためにゲインをブーストします。ブースターとしても使用できます。

ATTACK : 信号レベルがコンプレッションのスレッシュホールドを超えた後にコンプレッサーが効き始めるまでの時間をコントロールします。コントロールを時計回りに回すとアタックタイムが長くなります。

RELEASE : コンプレッション後のリカバリータイムを調整します。コントロールを時計回りに回すとリリースタイムが長くなります。このコントロールはオートリリースモードでは無効です。

RATIO : 信号がスレッシュホールドを超えた後のゲインリダクションの鋭さを設定します。設定値が高いほどダイナミクスのコントロールが向上しますが、よりコンプレッションの効いたサウンドになります。設定値は左から右へ **2:1**、**4:1**、**10:1** です。

AUTO RELEASE : **RATIO** ボタンと **SC HPF** ボタンの両方を押し続けることで、オートリリースモードになります。このモードでは、**RELEASE** コントロールは無効になり、入力信号に応じて自動的にリリースがコントロールされます。

SC HPF (サイドチェーンハイパスフィルター) : 低域のコンプレッション量を減らします。設定値を上げると、より穏やかなコンプレッションと、特にベース楽器の低域の強調効果が得られます。設定値は左から **0Hz**、**100Hz**、**200Hz** です。

トゥルーバイパスメモリ搭載 : エフェクトの **On/Off** スイッチ。 **Bus Driver** はリレーを使用してトゥルーバイパスを実現しています。電源投入時に、ペダルは最後にオン/オフした状態を自動的に呼び出します。

仕様

入力インピーダンス：1 M Ω

出力インピーダンス：1 k Ω

入力電圧：+9 VDC（センターマイナス）

消費電流：150 mA

寸法（L x W x H）：114 mm x 62 mm x 58 mm

重量：250g